

2011年(平成23年)7月18日

# 大阪で投資イベント 東京への投資強調

シー・エフ・ネット

不動産投資コンサルティングのシー・エフ・ネット(倉橋隆行社長)は、7月9日、大阪・本町の大阪会館で不動産オーナー、投資家向けのイベント「CFネットフェア2011」を開いた。大阪開催は昨年に引き続き2

度目。倉橋社長は冒頭、東日本大震災の影響について触れ、「発生から100日で阪神大震災の2・2倍となる184社が倒産した。6月下旬には200社に達し4倍に加速した」と状況の深刻さを伝えた。

金融機関の貸し渋りや貸し金業者の淘汰で企業の資金調達が困難になっていること、国内の人口減も震災による負の流れ

が著しく「東京駅前の開発も進み地方の資産家も多く移動してくるだろう」と予測した。

大阪の市場については、原発事故による放射能漏れが問題となってから外資系企業の移転が見られるものの、「政令指定都市の中で最も安い賃の是正が必要」と問題提起した。

続いて同社のプラチナ会員や会員企業などによるパネルディスカッションを行い、議論を展開。

「大阪と比較して東京は震災や原発のイメージがあるが投資家はなお東京優先」「大阪もエリアにより事情は異なる」などの意見が出された。

同社は大阪支社を8月

4日にJR大阪駅近くに移転する。



追い打ちをかけているとも言及し、「関西も震災とは無関係ではない」と参加者に訴えた。

こうした状況を踏まえた不動産投資については、「首都圏は外せない」と強調した。特に東京は地方の衰退により人の流れが著しく「東京駅前の開発も進み地方の資産家も多く移動してくるだろう」と予測した。